

## 第24回HSE (Health care Sales Engineer) セミナー開催のご案内

暑い夏が終わり、気が付くとクリスマスケーキとおせちの予約が始まっています。時の流れの速さに驚かされます。そして、気になる診療報酬と介護報酬改定の準備も進んでいます。

今回は、在宅に欠かせない食事を取り上げました。薬局に管理栄養士を採用し食事指導等の付加サービスを提供しているところがあります。しかし、実際は何をどの様に提供したらいいのか試行錯誤ではないでしょうか。そこで、実際に管理栄養士が薬局を窓口として「居宅療養管理指導」を行なっているグループの活動をご紹介します。このノウハウを見習いましょう！

東日本大震災を契機に、インターネットの交流サイト(SNS)や、メールなどのコミュニケーションツールを利用する高齢者が増えています。博報堂の調査によると携帯電話やパソコンなどでメールをする友人がいるとする60代が69.7%(2011.5)となっています。これからは新しい形の情報発信が必要な時代ではないかと思えます。ちょっと覗いてみましょう。

さて、遡ること26年前医療系のコンサルタントを目指す若者が目標とした先生がいました。今回は薬剤師であり、この道の超ベテランである岡田先生が私の助っ人として登場です。日本の医療を知り尽くした、少し高いところから社会医療の担い手としての薬剤師像を語っていただきます。30代、40代はまだまだ鼻ったれと「喝」を入れていただきます。因みに、50代も。

【開催日】 2011年12月16日(金) 13:00~17:00  
(17:15より懇親会を企画しております)  
17日(土) 9:00~12:00

### 【内 容】

#### ●12月16日(金)

#### 地域における管理栄養士の役割

～管理栄養士と薬剤師の新しい連携を模索する～

江頭 文江 氏 (地域栄養ケアPEACH厚木 代表)

#### 業績を上げ、継続するための「情報」利活用

新木 啓弘 氏 (新木経営情報研究所 代表)

#### ●12月17日(土)

#### トレンド分析(押さえどころ!)

駒形 和哉 氏 (株式会社Kaeマネジメント 代表取締役)

#### 社会医療の一員としての薬剤師

岡田 玲一郎 氏 (社会医療研究所 所長)

【参加費】 50,000円(消費税別)

\* 上記参加費は単月参加の費用となります。

\* 継続の場合は御相談下さい。

【場 所】 ・ 五反田駅前会議室 <http://www.arel-jp.com/>  
東京都品川区西五反田1-2-9 アリアル五反田駅前ビル

### <参加対象者>

医療機関、介護・福祉事業、薬局の経営者、製薬企業マーケティング担当者  
医薬品卸経営相談及び経営企画担当者、医療・介護事業参入予定者など

株式会社<sup>カエ</sup>Kaeマネジメント 担 当 : 駒形公大 (090-6448-2769)

連絡先 : TEL 03-5829-6659 FAX 03-5829-6679 [kou-komagata@kae-m.kilo.jp](mailto:kou-komagata@kae-m.kilo.jp)

## <第 24 回 HSE セミナー講演内容>

■テーマ：地域における管理栄養士の役割～管理栄養士と薬剤師の新しい連携を模索する～

■講師：江頭 文江 氏 (地域栄養ケアPEACH厚木 代表)

ご自宅で療養される方には医療、看護、介護などのサービスが必要です。しかし、本当に支えているのは薬と食事ではないでしょうか。この薬を通じて薬剤師の服薬管理が、食事については専門家としての管理栄養士の役割が大きいです。まさに生活習慣病は食事にまさる薬なしです。また、在宅療養をされている方にとっても食事は大切です。褥瘡には食事が効果的です。さらに意外と多いのが味覚障害です。今回は管理栄養士と薬局との関わりから、地域に対する在宅サポートに視点を合わせてみました。薬局の管理栄養士にとって必見のメニューです。

### <講師紹介>

福井県生まれ 1992 年 静岡県立大学短期大学部食物栄養学科 社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷三方原病院栄養科 勤務 ピーチサポート (代表) 現在に至る

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会評議員、日本栄養改善学会、日本静脈・経腸栄養学会、日本病態栄養学会 神奈川 PDN 世話人、日本褥瘡学会関東甲信越地方会神奈川県支部世話人

.....  
■テーマ：業績を上げ、継続するための「情報」利活用

■講師：新木 啓弘 (しんき よしひろ) 氏 (新木経営情報研究所 代表)

経営資源 (ヒト、モノ、カネ、情報) の「情報」にターゲットを合わせて、IT (情報テクノロジー)、IS (情報セキュリティ) という 2 つの切り口から、経営に活かすためにやっておきたいことを確認していきます。また、短期目標にとらわれ忘れがちな、企業にとって大前提となる継続させるという視点についても「情報」の切り口からご紹介していきます。経営資源の中でも、大企業に比べて制約が少ないと言われている「情報」。その「情報」を利活用することは、中小企業にとって飛躍のチャンスなのです。「情報」に対するセキュリティは…?

### <講師紹介>

中小企業診断士、IT コーディネータ。富士ゼロックス情報システム株式会社にて、ネットワークインフラの設計、構築、ならびに情報セキュリティコンサルタントとして、情報セキュリティ規程の策定や情報セキュリティマネジメントシステムの構築支援の経験を持つ。

2009 年 3 月に退職し、個人事業者として独立。経営資源のなかで、最も重要であるのが「ヒト」。それと、「情報」を融合させ、経営に役立つ身の丈にあったアプローチは好評です。

.....  
■テーマ：社会医療の一員としての薬剤師

■講師：岡田 玲一郎 氏 (社会医療研究所 所長)

日本の医療システムを身近で体験し、アメリカにおけるシステムを時系列で考えられるのは、岡田先生しかいません。昭和 48 年から始めた社会医療研究所は今尚健在で、ここから多くの研究会が立ち上がっています。医療コンサルタントの創世記を作り上げた実績は、今でも多くの顧問先を抱えていることから、その偉大さが伺われます。今回は薬剤師とは何かを、自分自身に問いかける貴重な機会になることを願っております。2011 年を締めくくり、新しい年に向けた 1 年の計を考えるヒントになることを願っております。

### <講師紹介>

社会医療研究所所長。昭和 8 年岡山県生まれ。30 年明治薬科大学卒業と同時に堀井薬品工業 (株) にプロパーとして入社。33 年医療法人慈光会入職、薬局長と事務長を務める。48 年社会医療研究所創設、所長に就任。48 年より 63 年まで立教大学社会学部講師 (施設管理論) を務める。(社) 日本病院会顧問。主な著書は、「病医院の経営を推進する人材育成法 60」日本医療企画、「近未来の医業経営」厚生科学研究所 など多数。

理論を援用する理論的な活動ではなく、医療・福祉の現場で起きている諸問題を現実的に理論化し、民間の地域医療支援病院や急性期特定病院、療養病床等の病院機能の明確化を中心に活動。

## 第20回「薬局未来塾」開催のご案内

いよいよ調剤報酬改定もその姿が見え隠れする時期を迎えています。今回の未来塾では調剤報酬先取り対策を考えてみたいと思います。現時点で言えることは、ささやかな期待より厳しい対応と言った感じじゃないかと思えます。

超高齢社会を向かえ、診療報酬及び介護報酬の自然増への対応や、医療技術の進歩により必然的に伸ばさざる得ない部分など、医療費が支える貢献度は良くわかります。しかし、どこから財源を持つてくるのが大きな課題です。

この他にも東日本大震災の傷跡の癒しや肝炎訴訟の補償などの問題も山積しています。今回の「薬局未来塾」開催の時点で、どこまで確認できるのか分かりませんが、皆さんの情報を持ち寄って年末年始さらに、1~3月の対応など考えてみたいと思います。

日時： 12月17日(土) 午後12時15分から14時  
(昼食を取りながらのランチョン形式です。)

会場： 五反田駅前会議室 <http://www.areal-jp.com/>  
東京都品川区西五反田1-2-9 アリアル五反田駅前ビル

会費： 2,000円 (\*会費は食事代と会場費となっております。)  
※ 参加費は当日会場にてお支払いお願いいたします。

テーマ： **調剤報酬改定を先読みする**

- ・「医薬分業の真の意義を問う」吉田薬剤管理官の意図とは
- ・診療報酬、介護報酬改定のトレンド分析
- ・とりあえず出来ることから始めるには
- ・目先に惑わされない経営を目指す

駒形 和哉 氏 (株式会社Kae マネジメント 代表取締役)

※HSE セミナーに参加していない方でも参加歓迎いたします。

### 10年後の経営環境要因

- ・ 分業率は80%が上限か、成熟市場が近づいている、処方せんは増えるのか減るのか
- ・ 薬剤師需給バランスはどうなるのか、売り手市場の終焉、有能な薬剤師とは
- ・ 高齢者のビヘイビアが変わる、歩けない高齢者が増える、団塊の世代は消費の世代
- ・ 競合が変わる、ドラッグストアの戦略とは、異業種の参入で市場が変わる
- ・ 調剤報酬の傾向分析、医療費抑制はエビデンスが重要、薬歴の見直し、在宅は
- ・ 薬価制度と薬価差益の確保、後発医薬品への誘導は、産業育成としての政策
- ・ 卸の戦略変わる、市場の半分を占める薬局、困り込み戦略の意味するところ
- ・ 超高齢社会は独居と認知症問題、高齢者住居のあり方
- ・ 患者のニーズとは何か、後発品はどこまで浸透するか、利便性の追及
- ・ 医療提供体制の変化、地域包括ケア、地域連携システムにおける薬局
- ・ 在宅医療はどこまで進む、在宅介護が増加する、見えない薬剤師
- ・ 特定検診、特定保健指導事業のこれから、地域トータルヘルスケアコーディネーター

# 第 24 回セミナー参加申込書

FAX : 03-5829-6679

E-mail : [kou-komagata@kae-m.kilo.jp](mailto:kou-komagata@kae-m.kilo.jp)

|         |  |
|---------|--|
| フリガナ    |  |
| 氏 名     |  |
| 会社名     |  |
| 部署名     |  |
| 住 所     |  |
| 携帯電話番号  |  |
| メールアドレス |  |

※ 単月の方に後日御請求書を送付させていただきます。

## 第20回 薬局未来塾参加申込

|     |     |
|-----|-----|
| 御出席 | 御欠席 |
|-----|-----|

|   |  |
|---|--|
| <p>□会場</p> <p>五反田駅前会議室<br/>東京都品川区西五反田1-2-9<br/>アリエル五反田駅前ビル</p> <p>JR五反田駅（西口）より徒歩2分</p> <p>地下鉄都営浅草線五反田駅A1出口より徒歩30秒</p> |  |
|---|--|